



園芸  
ポイント

メロンの栽培管理の注意点を確認し、  
高品質なメロンの収穫を目指しましょう!

今月  
営  
ポイ



男鹿地区営農センター 主査 佐藤 圭太

ハウス・トンネル内温度管理

雄花の開花交配期と玉の肥大期を除いて、最低気温が12℃を下回らなくなったら昼夜とも開放管理が可能です。開花前2~3日から着果後14日ほどは完全授精や肥大促進のため、朝はいつもより1時間遅く開放し、夕方は1時間早くハウスやトンネルの裾を開閉して、昼夜とも最低気温15℃以上を保つよう心掛けてください。また、最高気温は全期間通して30℃以下を目標としてください。

整枝作業等

「秋田美人(BG-27)」はかなり樹勢がよくないと1株から4果の収穫が厳しい品種です。遊びづるが伸びてこない状態のときは、3果付けで対応してください。また、「秋田美人(BG-27)」、「(LG-15)」の遊びづるは先端1本とし、他の品種は樹勢の強弱に応じて1~2本としましょう。

かん水

かん水は、樹が萎れない程度に必要です。特に黒土地帯のトンネル栽培では、着果後14日前後は果実の縦の長さが決まる大切な時期となるため、1株当たり3ℓ程度のかん水に努めましょう。

収穫

着果枝葉に苦土欠症状が確認できたら、糖度測定を行って15度以上で果実の熟度が進行していることを確かめ、大玉果から収穫しましょう。1ケースまたは1個の品質不良果がメロンの評価に繋がるため、十分に注意しましょう。

病虫害防除

高温乾燥条件下では、ダニ類や「うどんこ病」などの発生が予想されるため、予防防除に努めましょう。

● 予防剤

薬剤名	対象病虫害	倍率	使用量	使用時期	使用回数
ダコニール1000	うどんこ病 べと病 つる枯病	700倍 700~1,000倍 1,000倍	100~300ℓ/10a	収穫3日前	5回以内
モベントフロアブル	アブラムシ類 ハダニ類	2,000倍		収穫前日	3回以内

● ダニ、アブラムシの発生が見られる場合

薬剤名	対象病虫害	倍率	使用量	使用時期	使用回数
ダントツ顆粒水溶剤	アブラムシ類 ハモグリバエ類	2,000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日	3回以内
ピラニカEW	ハダニ類		150~300ℓ/10a	収穫3日前	1回

● 「うどんこ病」が見られる場合

薬剤名	対象病虫害	倍率	使用量	使用時期	使用回数
ベルコート水和剤	うどんこ病 つる枯病	1,000倍	150~300ℓ/10a	収穫前日	5回以内

交通事故にあったら

まずは怪我人の救護と安全確保  
JA共済事故受付センター(24時間・365日対応) 0120-258-931と警察にもご連絡ください